

東由利町報

№ 215

昭和49年(1974)10月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K K 本間印刷所
毎月1日発行(1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況

人口総数	6,727
うち男	3,286
うち女	3,441
世帯数	1,528
面積	148.51 ㌦

10月は納税促進月間
完納10力年早期に達成を
10月は指定納期内完納の
月です。今月末日までの納
期となっている税金は、早
めに完納するよう納税組合
員同志で督促し合います。
町では、今月を町税完
納促進月間に定め、一部の
滞納している方々の方に
巡回して納税に協力してい
ただくことにしています。
町から伺う前に自主的に納
税を済ませ、連続完納10
年の金字塔を早期に樹立で
きるようにしましょう。
身体障害者のバス運賃割
引証が本年度から新しいも
のに切替えられています。
古いものをお持ちの方は住
民課で新しいものと交換し
てください。



体育館いっぱい二重の輪になって踊りを踊り
創立100周年と統合を喜びあう蔵小のお友だち

「ますます立派な学校に」

蔵小 トップを切って一〇〇周年記念式

創立から百周年を迎えた玉米・老方・蔵の町内三小学校ではそれぞれ百周年記念事業や行事が計画されていますが、九月八日、三校のトップを切って蔵小地区住民や多数の来賓が列席委員としてあいさつに立席して行われた記念式で、実った阿部剛嗣校長PTA会長は

出かせぎ求人二割減
就労は必ず職安経由で
今年秋の出かせぎ求人状
況は昨年同様の二割減とい
われ、出かせぎ者として就
労するようになっています。
安全な職場で安心して就
労できるようにするため、
必ず職業安定所の窓口を通
じ、互助会に加入して就労
するようになっています。



真剣な表情で造形に励む

造形の喜び満喫

「焼き物教室」好評

町公民館が東由利中学校美術室を会場に開催している「焼き物教室」には、主婦を始め商業、農業、事務員、教員など多様な職業の人たちが参加、同校吉尾教諭を講師に茶わんや水差し、つぼなどの製作に励み、創造の喜びを満喫しています。
実際に陶土をこね、形をつくることは、他で見ると簡単に思いますが、いざやってみると何とも失敗を重ねながらでも声一つ立てず真剣な表情で取り組んでいました。
思ったより器の土部が広が



町公民館が東由利中学校美術室を会場に開催している「焼き物教室」には、主婦を始め商業、農業、事務員、教員など多様な職業の人たちが参加、同校吉尾教諭を講師に茶わんや水差し、つぼなどの製作に励み、創造の喜びを満喫しています。



「助け合いの心」を
こだまさせよう

「助け合いの心」をこだまさせよう
う心は誰でも同じです。しかし世の中にも自分だけの力でどうにも果てない人々が多くなっています。たとえ、恵まれない環境にある子どもたち、あるいは体の不自由な方々、独り暮らしのお年寄りたちなどです。こうした人たちに少しでも多くのおもひやりをお届けしようとして実施するのが「赤い羽根共同募金」です。

をしてくれた町民諸同好会(伊東国男会長)や商工会婦人部(小松メサ子部長)には各方面から大きな感謝が寄せられました。
緑陰での栄養改善指導主婦たちから好評
本庄保健所では、町住民課とタイアップして八月下旬に町内の三カ所でキッチンカー(栄養改善指導車)による講習会を開催、主婦などの受講者たちから好評を得ました。
夏バテ回復や高血圧予防など、農繁期前に体調を整えることを主目的に、緑陰を利用

LPGガスのメーター設置に協力を

家庭で使用されているLPGガスには、メーターの取り付けが義務づけられ、来年四月以降はメーターを取り付けていなければ供給をうけられなくなります。
これは、中味が見えないLPGガスの不明朗な販売を防止し、消費者が合理的に計器購入できるようにするために義務づけられたもので、工事費は消費者負担になります。
多雪地帯の本町では降雪前に取り付けを行わなければ非常に困難となるので、十一月末頃までに未取付け者は必ず取りつけるよう協力がのぞまれています。

農林大臣から感謝状

農林大臣から感謝状
長年にわたり農林省秋田統計調査事務所の委託を受け、農林水産統計調査(林業関係)に尽力された島山忠太郎さん(日照取)に、このほど農林大臣から感謝状が贈られました。

ご芳志ありがとうございます

蔵小の統合と百周年を記念して次の三氏から高価な教材が寄贈されました。
▼石渡鉄信氏(北上市) 20インチカラーテレビ一台。
▼阿部三三氏(酒田市) 11屋外用電気時計一個。
▼遠藤治郎氏(十二前) ミニミュージックチャイム一基。

住民サイドは休載します

稲わら焼却禁止に 県公害防止条例で規制

毎年10月か
ら11月にかけて
稲わら焼却が
原因のスモッグ
公害や交通障害
が発生する
と氏名が公表さ
れることになり
ます。
本年3月に県
公害防止条例
を改正、稲わ
らやゴモ類、
合成樹脂など
燃焼時に著しい
煙を発生させる
物質の屋外燃
焼を禁止した。

善意と熱意で園 児用プール誕生

慶
育
園

八月下旬、永慶保育園に園児用の立派なプールが完成、同月二十五日園児たちが初泳ぎを披露して盛大にプール開きが行われました。

同プールは11河川での遊泳が禁止されていること、2中学校プールでは幼児や低学年児童が利用できないこと等から「水遊びの好きな幼児たちのためにプールを作ろう」という同園父母の会(阿部幸

円を負担、残りについては園児を係にもつ大沼一広氏および同氏の取り引き先である由利生コン株式会社(本荘市)から、時価十数万円に及ぶ原材の寄附をうけたという、大きな善意に支えられ完成したものです。
父母の会の阿部会長は計画から完成まで僅か一ヶ月余りという短期間で完成を見ることのできたのは、大沼氏や由利生コン、父母たちの善意と熱意であるとして大きな謝

砂塵にめげず大奮闘

才7回町民体育大会

九月一日 台風十六号の余波による強い東風で終日砂塵が舞うという、これまで経験したことのない悪条件の台風グラウンドで、第七回町民体育大会が盛大に開催された。

雨こそ降らなかったものの悪天候が災いして参加者が少なかった。閉会後のグラウンドには今も目立つゴミがほとんど見られませんでした。

運営に一層研究を
悪天候はさて置き、競技出場者の繰り出しが予想以上に手まどって閉会予定時刻が大幅に遅延したことから、参加者の間には主催側に対して、スピーディーな運営を一層研究されたいという声があがっていました。

なお分館対抗競技の総合成績は次のとおりでした。
一位 蔵分館、二位 法内分館、三位 玉米・宿分館。

秋晴れにコンビで

老小PTAの親子運動会



抜けるような青空の下に子どもたちの元気な声が校庭いっぱいこだまする父さんがんばれ！



訪ソ青年の船

八月十三日から同月二十六日までの二週間、小畑県知事を団長とする第三回秋田県青年の海外研修団として本町から参加、モスクワを中心としてソビエト連邦を訪れた小松美津子さん(須郷田)および小笠原慶悦さん(新田)の二人に、研修の一端を寄稿していただきましたので紹介します。

幼児教育に高い評価

小松美津子

新潟からハバロフスクまでジェット機でわずか二時間という隣国ソ連、それなのにハバロフスクからモスクワまでは飛行機で八時間。列車だと一週間はかかるというわ、ソ連邦の広大さを知らされました。

モスクワでは白樺の林をまっすぐに伸びる道路、赤レンガの美しい建物が、ソ連の印象を強く与えました。それに建築物のすべてが古典的な美しさで、大きなスケールを持ち、芸術品と見まがうばかりでした。

海外研修報告

児を六班に分け、各班には二名の保母と一名の助手が配置されていました。他に医師、看護婦が一名ずつおり、一日の勤務時間はわずか六時間。職員は国家から高く評価され、特別の配慮がなされているということでした。その一例として全ての職員には二ヵ月に及ぶ有給休暇が与えられているということがわかりました。

「世界は一つ」

小笠原慶悦

訪ソ青年の船研修団員として海外研修の機会に恵まれた私は、ソ連邦の若者と友情を深め、二百五十名の若者団員相互の連帯の力で、郷土秋田の躍進に役立ちたいという強い決意に胸躍らせて参加しました。

今回の研修は多くの団員とともに広大なユーラシア大陸に立ち、将来の自己と将来の

献血ありがとう

目標を大きく突破

九月六日、移動献血車あかつき号が来町の際は、前回に引き続き多くの方々から尊い血液を提供していただき、本町の年間目標の二倍近くに達するという好成績をあげました。

お寄せいただいた尊い献血は、頻回の病状に苦しむ

東京の青年たちと交流

郷土のよさを再発見

(法内青年会)

九月七・八の両日、町公民館法内分館で東京東村山市の青年七名と、法内青年会員の四十名が夕食を共にしてお互いの生活様式を学び合い、友

出かせぎで同地の青年たちと親交のあった遠藤健一さん(新旭)らの尽力で実現されたものと云われます。

東村山市の教育長、二名の

弁護士開業が目前

苦学して司法試験にパス

大学へ進みたい！その一念で中学校卒業と同時に両親の反対を押し切って上京。昼は工員、夜は学生という苦学を続けながら競争率六十倍近い難関の司法試験を受験。若冠二十三歳の現役で見事に司法試験に合格。目前に九州で司法修習に励んでいる小松平内さん(新田出身25歳)を紹介しよう。



小松平内さん

「た！」という明けた小松さんの大志は、長男であるゆえに当然農業の後継者と決め込んでいた両親に大きなショックを与えたと言われます。

手を変え、品を変えての慰め

まで入学、語らずとも血の通じむ努力のあったことが想像できそうです。

授業が始まると同時に睡魔がおそい、仕事と勉学の両立



おとぎの世界を錯角させたクレムリン宮の一角にある寺院

慶弔だより

- 8月26日・9月25日
- 出生 おめでとう
- 加藤 湧出野 清一 長男
 - 阿部 睦子 十二郎 武治二女
 - 七尾 伸 下小路 信一郎長男
 - 橋本 孝 忠行 長女
- 結婚 おしあわせに
- 佐藤 喜一郎 下小 屋
 - 安部 悦子 羽後 町
 - 小野 信一 本 市
 - 大野 良一 上 市
 - 小野 信一 上 市
 - 遠藤 恭悦 小 市
 - 藤 恭悦 小 市
- 自立更生誓い合う
- 身障指導者研修会本町で
- 九月十四日、本町代保健福祉館に郡市内各町村の身体障害者更生協会の幹部ら約五十名が出席して、財団法人県身体障害者協会の基本財産積み立て案審議や講演を聞く指導者研修会を開催、自立更生を誓い合いました。